

チオルム博物館

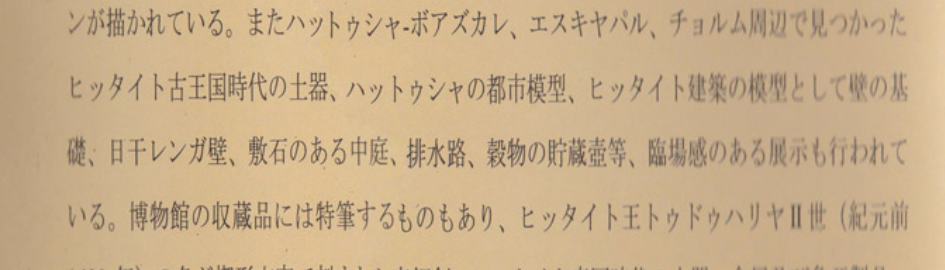
チオルム博物館

史料によれば「1332年12月に総合病院が、チオルムのハミエット・メルダン一族の寄付金及び国家の慈善基金によって建設された」とある。

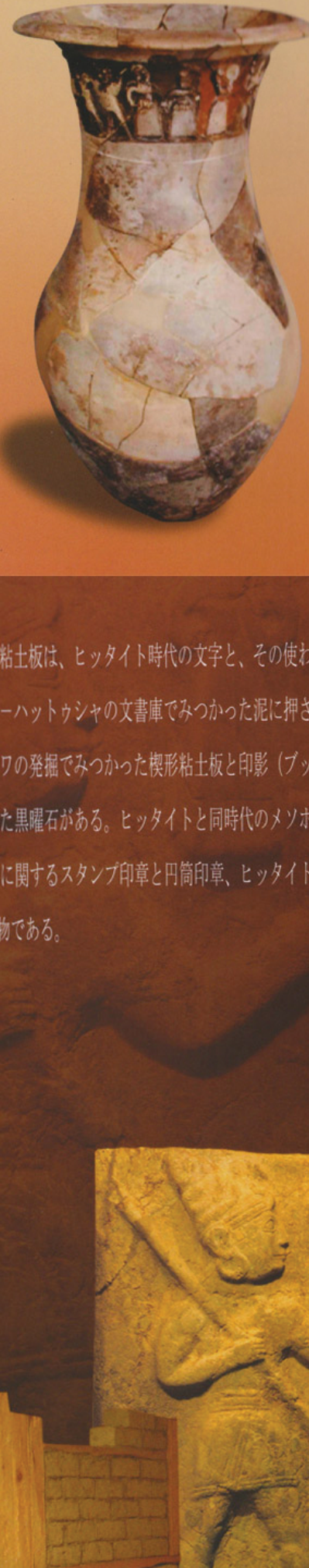
博物館の建物は1914年に病院として建てられたもので、その後、農学校、保健学校、商業学校、工業学校、アタテュルク高等学校として使用された。この建物は典型的な19世紀の建築的特徴を持ち、1988年の火災を契機に「保護が必要な文化的不動産遺産」に登録された。1989年に修復が開始され、2003年3月11日に新チオルム博物館としてリニューアルされた。



考古学コーナーは、二つのメインフロアと二つの中二階部分からなり、編年ごとに展示されている。チオルム周辺の銅石器時代（紀元前5500～3000年）に属するアラジャホック、クシュサイ出土品は第一展示ケースにある。ヒッタイト人以前のアナトリア先住民つまりアナトリアにおける高度な文化の担い手であるハッティ人達が活躍したのは、前期青銅器時代（紀元前3000～2000年）である。ここでは、この時代に属する金属製武器、装飾品、祭祀に関するウシ形スタンダード、サンディスクをアラジャホック出土の土器と共に展示している。さらにアラジャホック「L墓」を実寸大に復元している。そして墓内にあった人骨、祭祀用のウシ、シカ形製品、サンディスク、装飾品や墓の上に犠牲獣（死者の食物）として捧げられたウシ頭部を実物同様に展示している。



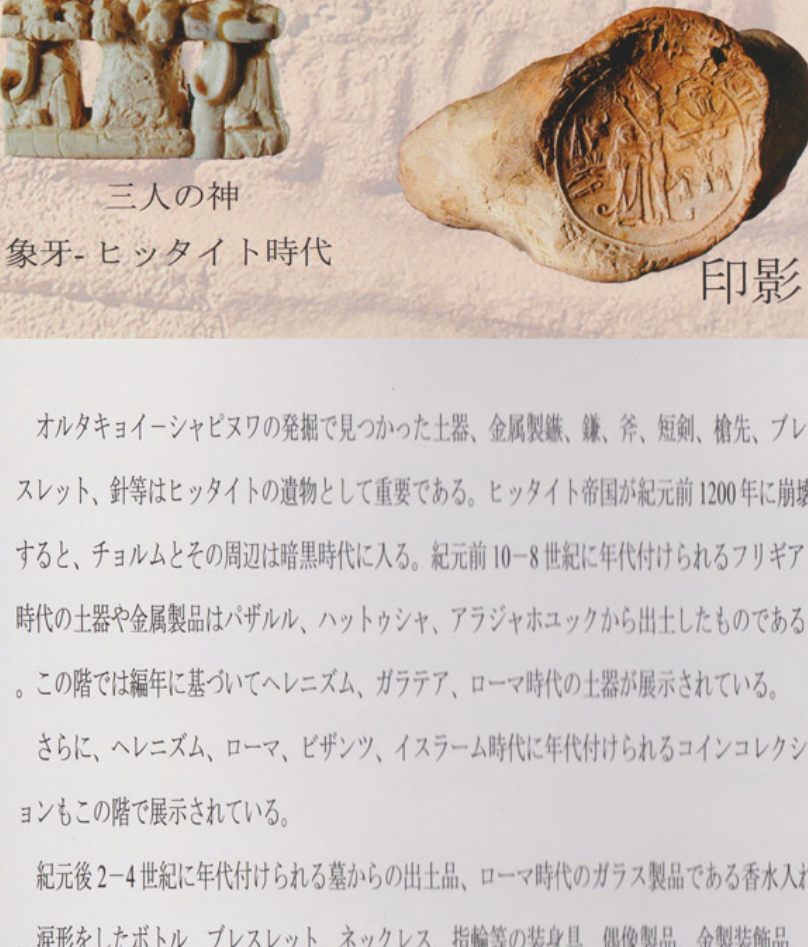
アナトリアにおいて、最初に文字が用いられたのはアッシリアコロニー時代（紀元前1900～1700年）である。神とその家族をかたどった鉛製偶像製品、4.18kgのアヒル形をした鐘、土器、バスタブ等が展示されている。ヒッタイト古王国時代（紀元前1650年）に年代付けられるフセインデ出土の壺が2つある。大きい方には聖婚の場面があるが、これは暴風神を賛美する春祭を意味している。小さい方には音楽とダンスによる祭儀、牛をつかつたアクロバットシーンが描かれている。またハットゥシャ・ボアズカレ、エスキヤバル、チオルム周辺で見つかったヒッタイト古王国時代の土器、ハットゥシャの都市模型、ヒッタイト建築の模型として壁の基礎、日干レンガ壁、敷石のある中庭、排水路、穀物の貯蔵壺等、臨場感のある展示も行われている。博物館の収蔵品には特筆するものもあり、ヒッタイト王トゥドゥハリヤII世（紀元前1430年）の名が楔形文字で刻まれた青銅剣、ヒッタイト帝国時代の土器、金属及び象牙製品、守護神が描かれた小さな金板がある。この階の最後の展示ケースには、アラジャホックから出土したヒッタイト国時代に年代付けられる土器が置かれている。



ヒッタイト時代に年代付けられる楔形粘土板は、ヒッタイト時代の文字と、その使われ方について情報を与えてくれる。ボアズカレ・ハットゥシャの文書庫でみつかった泥に押された印影（ブツラ）、オルタキョイ・シャピヌワの発掘でみつかった楔形粘土板と印影（ブツラ）、ロータス模様の金製品、表面が加工された黒曜石がある。ヒッタイトと同時代のメソポタミア文明を代表するアッシリアとバビロニアに関するスタンプ印章と円筒印章、ヒッタイト時代の子どものおもちゃ、神像等は重要な展示物である。



トゥドゥハリヤIV世



国の守護神
金製-ヒッタイト時代

神像
青銅

ダンスする神
象牙-ヒッタイト時代

土地譲渡に関する文書
(前頁)

土地譲渡に関する文書
(後頁)

三人の神
象牙-ヒッタイト時代

印影

オルタキョイ・シャピヌワの発掘で見つかった土器、金属製鎌、斧、短剣、槍先、プレスレット、針等はヒッタイトの遺物として重要である。ヒッタイト帝国が紀元前1200年に崩壊すると、チオルムとその周辺は暗黒時代に入る。紀元前10～8世紀に年代付けられるフリギア時代の土器や金属製品はバザル、ハットゥシャ、アラジャホックから出土したものである。この階では編年に基づいてヘレニズム、ガラテア、ローマ時代の土器が展示されている。

さらに、ヘレニズム、ローマ、ビザンツ、イスラーム時代に年代付けられるコインコレクションもこの階で展示されている。

紀元後2～4世紀に年代付けられる墓からの出土品、ローマ時代のガラス製品である香水入れ、涙形をしたボトル、プレスレット、ネックレス、指輪等の装身具、偶像製品、金製装飾品、医療用具、銅鏡、オイルランプ等がある。考古学コーナーは編年に基づいており、最後の展示ケースにはビザンツ時代の十字架を含む教会関係の遺物、真珠製のバックルがある。



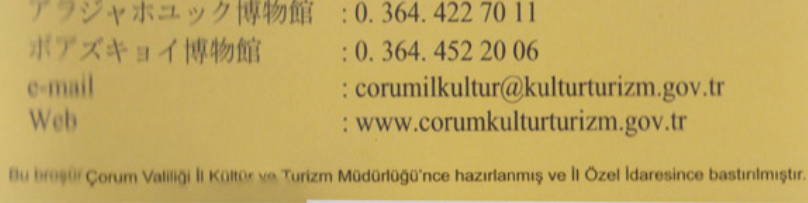
ガラス製品
(ローマ時代)

ガラス碗
(ローマ時代)

ガラス製腕輪

祭祀用カップ
(フリギア時代)

博物館の庭には、ヒッタイト時代の牛型水槽、ローマ時代のマイルストーン、墓碑、石碑、ビザンツ時代の墓碑、さまざまな建築物片、柱、柱頭、礎、オスマン時代の墓石、甕がある。



泉
(ヒッタイト時代)

墓石
(ビザンツ時代)

石棺 (ローマ時代)

泉文化・観光局
住所 : Yeni Hükümet Binası C Blok Kat:8 Çorum
電話 : 0. 364. 213 85 02 – 213 47 04
ファクシミリ : 0. 364. 212 05 10
チオルム博物館 : 0. 364. 213 15 68
アラジャホック博物館 : 0. 364. 422 70 11
ボアズキョイ博物館 : 0. 364. 452 20 06
e-mail : corumilkultur@kulturturizm.gov.tr
Web : www.corumkulturturizm.gov.tr